

[県史収集資料] 公開資料群一覧

資料群コード	B620005-001		
資料群名	筒井稔氏収集資料		
年代	寛永1（1624）～明治27（1894）	公開資料点数	232点
出所地名	愛知県		
所蔵区分	原本（寄贈）		
詳細	●郷土史家の筒井稔氏が収集した資料。 ●箱番01は資料群としてまとめられないさまざまな資料。 ●箱番02は尾張藩と渡辺半蔵家の分限帳。 ●箱番03は愛知郡岩崎村志水嘉平家文書。 ●箱番04は三河国設楽郡笠井島村文書。 ●箱番05は三河国宝飯郡長沢村松平源七郎家文書。 ●箱番06は三河国宝飯郡竹之谷鈴木家文書。 ●箱番07は海東郡佐屋村岩間家文書。 ●愛知県公文書館が原本を所蔵するもののみ公開。		
公開許可条件	複写物を刊行物やWeb上で掲載（翻刻掲載を含む）する場合や資料として配付する場合は、愛知県公文書館へお問い合わせください。		

資料群コード	B010037-001		
資料群名	名古屋市熊野屋文書		
年代	寛政12（1800）～明治7（1874）	公開資料点数	43点
出所地名	名古屋市		
所蔵区分	複製資料		
詳細	●享保期（1716～36）に名古屋城下赤塚町で創業した油商の熊野屋に伝来した文書。名古屋城下の小売油屋は西組、中組、南組、東組に分かれており、熊野屋は東組の仕入油屋惣代を務めた。 ●資料点数は約50点で、油商としての経営資料のほか、赤塚町界限の家並み図などがある。 ●目録は県史収集分のみを掲載している。		
公開許可条件	複写物を刊行物やWeb上で掲載（翻刻掲載を含む）する場合や資料として配付する場合は、所蔵者の許諾が必要となります。手続き方法については、愛知県公文書館へお問い合わせください。		

資料群コード	B742001-003		
資料群名	田原市渥美郷土資料館蔵八王子区有文書		
年代	天明4（1784）～明治2（1869）	公開資料点数	9点
出所地名	田原市		
所蔵区分	複製資料（原本：田原市博物館所蔵）		
詳細	●旧渥美郡八王子村に伝来した文書。同村は海浜をもたない農村であるが、海と山には7か村入会という取り決めがあり海藻などの採取も行うことができた。慶長6年（1601）幕領、寛永2年（1625）旗本清水家知行地、同16年幕領、天和元年（1681）志摩鳥羽藩領、享保10年（1725）幕領、安永元年（1772）遠江相良藩領、天明2年（1782）旗本本多家知行地となり明治に至る。村には本多家の陣屋が置かれていた。村高は「元禄郷帳」316石余、「天保郷帳」341石余。 ●『渥美町史』の調査によると、資料点数は120点余。近世期の八幡宮の棟札や許状、近代の芝居関係や種痘証書などがある。 ●目録は県史収集分のみを掲載している。『渥美町史』資料目録編、『渥美町史』資料編下巻に目録の一部が掲載されており、その目録をもとにしているが、記載内容を訂正・追加した部分がある。請求番号と画像写し込みの番号は異なるものもある。		
公開許可条件	複写物を刊行物やWeb上で掲載（翻刻掲載を含む）する場合や資料として配付する場合は、田原市博物館へお問い合わせください。		

資料群コード	B742001-004		
資料群名	田原市渥美郷土資料館蔵江比間区有文書		
年代	寛永18（1641）～明治7（1874）	公開資料点数	79点
出所地名	田原市		
所蔵区分	複製資料（原本：田原市博物館所蔵）		
詳細	●旧渥美郡江比間村に伝来した文書。同村は三河湾に面し、慶長6年（1601）幕領、寛永5年（1628）豊後日田藩領、同10年幕領、天和元年（1681）志摩鳥羽藩領、享保10年（1725）幕領、安永元年（1772）遠江相良藩領、天明2年（1782）上総大多喜藩領、同5年旗本諏訪家知行地となり明治に至る。村高は「元禄郷帳」537石余、「天保郷帳」581石余。 ●『渥美町史』の調査によると、資料点数は530点余。年貢関係、7か村入会関係などの資料がある。また書籍も多く残されている。 ●目録は県史収集分のみを掲載している。『渥美町史』資料目録編、『渥美町史』資料編下巻に目録の一部が掲載されており、その目録をもとにしているが、記載内容を訂正・追加した部分がある。請求番号と画像写し込みの番号は異なるものもある。		
公開許可条件	複写物を刊行物やWeb上で掲載（翻刻掲載を含む）する場合や資料として配付する場合は、田原市博物館へお問い合わせください。		

資料群コード	B742001-005		
資料群名	田原市渥美郷土資料館蔵伊良湖区有文書		
年代	寛永21（1644）～明治38（1905）	公開資料点数	6点
出所地名	田原市		
所蔵区分	複製資料（原本：田原市博物館所蔵）		
詳細	●旧渥美郡伊良湖村に伝来した文書。同村は渥美半島先端の村であり、漁民出身の近世歌人糟谷磯丸の出生地である。慶長6年（1601）幕領、寛永10年（1633）志摩鳥羽藩領、享保10年（1725）幕領、安永3年（1774）遠江相良藩領、天明2年（1782）上総大多喜藩領、同5年幕領となり明治に至る。村高は「元禄郷帳」210石余、「天保郷帳」250石余。 ●『渥美町史』の調査によると、資料点数は170点余。争論関係、磯丸関係などの資料のほか、明治39年（1906）日本陸軍の試砲場建設のため全村が南方に移村したことにに関する資料などがある。 ●目録は県史収集分のみを掲載している。『渥美町史』資料目録編、『渥美町史』資料編下巻に目録の一部が掲載されており、その目録をもとにしているが、記載内容を訂正・追加した部分がある。請求番号と画像写し込みの番号は異なるものもある。		
公開許可条件	複製物を刊行物やWeb上で掲載（翻刻掲載を含む）する場合や資料として配付する場合は、田原市博物館へお問い合わせください。		

資料群コード	B742001-006		
資料群名	田原市渥美郷土資料館蔵石神区有文書		
年代	慶長9（1604）～昭和12（1937）	公開資料点数	387点
出所地名	田原市		
所蔵区分	複製資料（原本：田原市博物館所蔵）		
詳細	●旧渥美郡石神村に伝来した文書。同村は三河湾に面し、慶長6年（1601）幕領、天和元年（1681）志摩鳥羽藩領、享保10年（1725）幕領、安永元年（1772）遠江相良藩領、天明2年（1782）から旗本本多家知行地となり明治に至る。村高は「元禄郷帳」305石余、「天保郷帳」315石余。 ●『渥美町史』の調査によると、資料点数は1,370点余。寛永11年（1634）以降江戸時代を通じての年貢免状が残る。石神村の北部は三河湾に面しており、汐除堤普請・海辺堤普請に関するもの、7か村入会の貝の浜での伊川津村との争論、浜田新田の荒地起返りに関する資料などがある。 ●目録は県史収集分のみを掲載している。『渥美町史』資料目録編、『渥美町史』資料編下巻に目録の一部が掲載されており、その目録をもとにしているが、記載内容を訂正・追加した部分がある。請求番号と画像写し込みの番号は異なるものもある。		
公開許可条件	複写物を刊行物やWeb上で掲載（翻刻掲載を含む）する場合や資料として配付する場合は、田原市博物館へお問い合わせください。		

資料群コード	B742001-007		
資料群名	田原市渥美郷土資料館蔵亀山区有文書		
年代	天正17（1589）～昭和19（1944）	公開資料点数	332点
出所地名	田原市		
所蔵区分	複製資料（原本：田原市博物館所蔵）		
詳細	●旧渥美郡亀山村に伝来した文書。同村は渥美半島先端近くに位置し、慶長6年（1601）幕領、元和元年（1615）旗本間宮家知行地、同5年旗本戸田家知行地、元禄元年（1688）戸田家が大名となって大垣新田藩（美濃大垣藩の支藩）領となり明治に至る。村高は「元禄郷帳」29石、「天保郷帳」313石余。 ●『渥美町史』の調査によると、資料点数は1,330点余。年貢免状・諸掛り・隣村との争論などに関する文書が多いが、村民の座興・文芸活動として俳諧・短歌の関係文書もある。 ●目録は県史収集分のみを掲載している。『渥美町史』資料目録編、『渥美町史』資料編下巻に目録の一部が掲載されており、その目録をもとにしているが、記載内容を訂正・追加した部分がある。請求番号と画像写し込みの番号は異なるものもある。		
公開許可条件	複製物を刊行物やWeb上で掲載（翻刻掲載を含む）する場合や資料として配付する場合は、田原市博物館へお問い合わせください。		

資料群コード	B742001-008		
資料群名	田原市渥美郷土資料館蔵小塩津区有文書		
年代	慶長10（1605）～昭和54（1979）	公開資料点数	433点
出所地名	田原市		
所蔵区分	複製資料（原本：田原市博物館所蔵）		
詳細	●旧渥美郡小塩津村に伝来した文書。同村は渥美半島西方に位置し、南は太平洋に臨む。慶長6年（1601）幕領、寛永2年（1625）旗本清水家知行地、同16年幕領、天和元年（1681）志摩鳥羽藩領、享保10年（1725）幕領、安永元年（1772）遠江相良藩領、天明2年（1782）上総大多喜藩と旗本本多家の相給、同5年幕府と旗本諏訪家・本多家の相給となり明治に至る。村高は「元禄郷帳」321石余、「天保郷帳」364石余。享保10年の家数191軒、人数855人。 ●『渥美町史』の調査によると、資料点数は500点余で、そのうち大部分が近世資料である。年貢免状・年貢皆済目録など年貢関係が多く、ほかに慶長・寛永検地帳、御用留、浦手形・置手形などの海難関係、秋葉講関係などの資料がある。 ●目録は県史収集分のみを掲載している。『渥美町史』資料目録編、『渥美町史』資料編下巻に目録の一部が掲載されており、その目録をもとにしているが、記載内容を訂正・追加した部分がある。請求番号と画像写し込みの番号は異なるものもある。		
公開許可条件	複製物を刊行物やWeb上で掲載（翻刻掲載を含む）する場合や資料として配付する場合は、田原市博物館へお問い合わせください。		

資料群コード	B742001-009		
資料群名	田原市渥美郷土資料館蔵高木区有文書		
年代	寛永19（1642）～明治14（1881）	公開資料点数	401点
出所地名	田原市		
所蔵区分	複製資料（原本：田原市博物館所蔵）		
詳細	●旧渥美郡高木村に伝来した文書。同村は三河湾に面し、南方には東西に連なる山並みがある。慶長6年（1601）幕領、寛永2年（1625）旗本清水家知行地、同16年幕領、翌年再び旗本清水家知行地に復し、そのまま明治に至る。村高は「元禄郷帳」280石、「天保郷帳」491石余。 ●『渥美町史』の調査によると、資料点数は1,240点弱。免相帳や御物成突合目録などの年貢関係、7か村入会関係、借用証文、芝居台本などの資料がある。 ●目録は県史収集分のみを掲載している。『渥美町史』資料目録編、『渥美町史』資料編下巻に目録の一部が掲載されており、その目録をもとにしているが、記載内容を訂正・追加した部分がある。請求番号と画像写し込みの番号は異なるものもある。		
公開許可条件	複写物を刊行物やWeb上で掲載（翻刻掲載を含む）する場合や資料として配付する場合は、田原市博物館へお問い合わせください。		

資料群コード	B742001-010		
資料群名	田原市渥美郷土資料館蔵古田区有文書		
年代	寛文9（1669）～明治34（1901）	公開資料点数	40点
出所地名	田原市		
所蔵区分	複製資料（原本：田原市博物館所蔵）		
詳細	●旧渥美郡古田村に伝来した文書。同村は三河湾に面し、慶長6年（1601）幕領、元和元年（1615）旗本間宮家知行地、同5年旗本戸田家知行地、元禄元年（1688）戸田家が大名となって大垣新田藩（美濃大垣藩の支藩）領となり明治に至る。村高は「元禄郷帳」393石余、「天保郷帳」959石余。 ●『渥美町史』の調査によると、資料点数は340点弱。知多郡亀崎村との漁猟場争いに関する資料などがある。 ●目録は県史収集分のみを掲載している。『渥美町史』資料目録編、『渥美町史』資料編下巻に目録の一部が掲載されており、その目録をもとにしているが、記載内容を訂正・追加した部分がある。請求番号と画像写し込みの番号は異なるものもある。		
公開許可条件	複写物を刊行物やWeb上で掲載（翻刻掲載を含む）する場合や資料として配付する場合は、田原市博物館へお問い合わせください。		

資料群コード	B742001-011		
資料群名	田原市渥美郷土資料館蔵村松区有文書		
年代	寛永19（1642）～昭和18（1943）	公開資料点数	142点
出所地名	田原市		
所蔵区分	複製資料（原本：田原市博物館所蔵）		
詳細	●旧渥美郡村松村に伝来した文書。同村は海浜をもたない内陸の村で、慶長6年（1601）幕領、寛永2年（1625）旗本清水家知行地、同16年幕領、天和元年（1681）志摩鳥羽藩領、享保10年（1725）幕領、安永元年（1772）遠江相良藩領、天明2年（1782）旗本本多家知行地となり明治に至る。村高は「元禄郷帳」379石余、「天保郷帳」393石余。 ●『渥美町史』の調査によると、資料点数は500点弱。年貢免状、年貢皆済目録のほか、旗本本多家陣屋八王子役所からの廻状を書き留めた「廻状附留帳」「諸向附留帳」「諸向願書控」などの御用留帳がある。7か村入会である秣薪取場の野山をめぐる争いに関する資料もある。 ●目録は県史収集分のみを掲載している。『渥美町史』資料目録編、『渥美町史』資料編下巻に目録の一部が掲載されており、その目録をもとにしているが、記載内容を訂正・追加した部分がある。請求番号と画像写し込みの番号は異なるものもある。		
公開許可条件	複写物を刊行物やWeb上で掲載（翻刻掲載を含む）する場合や資料として配付する場合は、田原市博物館へお問い合わせください。		

資料群コード	B742001-012		
資料群名	田原市渥美郷土資料館蔵山田区有文書		
年代	寛文10（1670）～昭和19（1944）	公開資料点数	26点
出所地名	田原市		
所蔵区分	複製資料（原本：田原市博物館所蔵）		
詳細	●旧渥美郡山田村に伝来した文書。同村は山間部にある村で、全村が天台宗泉福寺領として明治まで続いた。村高は「元禄郷帳」117石余、「天保郷帳」122石余。農業の他、薪・芝刈りなどの山仕事が行われていた。 ●『渥美町史』の調査によると、資料点数は300点弱。そのうち近世資料は図面や棟札を含めてわずかで、山論と観音寺講に関するものである。 ●目録は県史収集分のみを掲載している。『渥美町史』資料目録編、『渥美町史』資料編下巻に目録の一部が掲載されており、その目録をもとにしているが、記載内容を訂正・追加した部分がある。請求番号と画像写し込みの番号は異なるものもある。		
公開許可条件	複写物を刊行物やWeb上で掲載（翻刻掲載を含む）する場合や資料として配付する場合は、田原市博物館へお問い合わせください。		

資料群コード	B742001-013		
資料群名	田原市渥美郷土資料館蔵馬伏区有文書		
年代	慶長10（1605）～大正10（1921）	公開資料点数	26点
出所地名	田原市		
所蔵区分	複製資料（原本：田原市博物館所蔵）		
詳細	●旧渥美郡馬伏村に伝来した文書。同村は内陸の村で、慶長6年（1601）幕領、寛永2年（1625）旗本清水家知行地、同16年幕領、天和元年（1681）志摩鳥羽藩領、享保10年（1725）幕領、安永元年（1772）遠江相良藩領、天明2年（1782）旗本本多家知行地となり明治に至る。村高は「元禄郷帳」200石2升余、「天保郷帳」200石6斗余。 ●『渥美町史』の調査によると、資料点数は190点で大部分が近代以降の資料。近世資料は地先海面図や村差出帳・村鑑帳、7か村入会関係の資料などがある。 ●目録は県史収集分のみを掲載している。『渥美町史』資料目録編、『渥美町史』資料編下巻に目録の一部が掲載されており、その目録をもとにしているが、記載内容を訂正・追加した部分がある。請求番号と画像写し込みの番号は異なるものもある。		
公開許可条件	複製物を刊行物やWeb上で掲載（翻刻掲載を含む）する場合や資料として配付する場合は、田原市博物館へお問い合わせください。		

資料群コード	B742001-014		
資料群名	田原市渥美郷土資料館蔵中山区有文書		
年代	寛政10（1798）～安政3（1856）	公開資料点数	46点
出所地名	田原市		
所蔵区分	複製資料（原本：田原市博物館所蔵）		
詳細	●旧渥美郡中山村に伝来した文書。同村は西ノ浜（伊勢湾）に面しており、慶長6年（1601）幕領、寛永2年（1625）旗本清水家知行地、同16年幕領、翌年再び旗本清水家知行地に復し、そのまま明治に至る。村には清水家の陣屋が置かれていた。村高は「元禄郷帳」420石、「天保郷帳」2,341石余。天保期（1830～44）の石高急増は主に新田開発によるものである。 ●『渥美町史』の調査によると、資料点数は520点余。借用証文や新田関係の資料、棟札などがある。 ●目録は県史収集分のみを掲載している。 『渥美町史』資料目録編、『渥美町史』資料編下巻に目録の一部が掲載されており、その目録をもとにしているが、記載内容を訂正・追加した部分がある。請求番号と画像写し込みの番号は異なるものもある。		
公開許可条件	複写物を刊行物やWeb上で掲載（翻刻掲載を含む）する場合や資料として配付する場合は、田原市博物館へお問い合わせください。		

資料群コード	B742001-015		
資料群名	田原市渥美郷土資料館蔵日出区有文書		
年代	寛文3（1663）～明治3（1870）	公開資料点数	11点
出所地名	田原市		
所蔵区分	複製資料（原本：田原市博物館所蔵）		
詳細	●旧渥美郡日出村に伝来した文書。同村は渥美半島の先端近く太平洋に面しており、慶長6年（1601）幕領、元和元年（1615）旗本間宮家知行地、同5年旗本戸田家知行地、元禄元年（1688）から戸田家が大名となって大垣新田藩（美濃大垣藩の支藩）領となり明治に至る。村高は「元禄郷帳」70石、「天保郷帳」97石余。 ●『渥美町史』の調査によると、資料点数は80点余。年貢免状などの年貢関係、日出村と伊良湖村の地境争論関係、浦手形・置手形などの海難関係などの資料がある。筆耕資料が多く含まれる。 ●目録は県史収集分のみを掲載している。『渥美町史』資料目録編、『渥美町史』資料編下巻に目録の一部が掲載されており、その目録をもとにしているが、記載内容を訂正・追加した部分がある。請求番号と画像写し込みの番号は異なるものもある。		
公開許可条件	複製物を刊行物やWeb上で掲載（翻刻掲載を含む）する場合や資料として配付する場合は、田原市博物館へお問い合わせください。		

資料群コード	B742001-016		
資料群名	田原市渥美郷土資料館蔵保美区有文書		
年代	慶長10（1605）～明治21（1888）	公開資料点数	385点
出所地名	田原市		
所蔵区分	複製資料（原本：田原市博物館所蔵）		
詳細	●旧渥美郡保美村に伝来した文書。同村は内陸の村で、芭蕉の門人杜国が隠棲した土地としても知られる。慶長6年（1601）幕領、寛永2年（1625）旗本清水家知行地、同16年幕領、天和元年（1681）志摩鳥羽藩領、享保10年（1725）幕領、安永元年（1772）遠江相良藩領、天明2年（1782）以後は幕領となり明治に至る。村高は「元禄郷帳」166石余、「天保郷帳」174石余。文久2年（1862）の村書留帳によると家数86軒、人数357人。 ●『渥美町史』の調査によると、資料点数は680点余。年貢免状・年貢皆済目録が大多数を占めるが、争論関係の文書・絵図、林書上帳、幕府役人の巡検や信心講・郷借などの文書もみられる。 ●目録は県史収集分のみを掲載している。『渥美町史』資料目録編、『渥美町史』資料編下巻に目録の一部が掲載されており、その目録をもとにしているが、記載内容を訂正・追加した部分がある。請求番号と画像写し込みの番号は異なるものもある。		
公開許可条件	複写物を刊行物やWeb上で掲載（翻刻掲載を含む）する場合や資料として配付する場合は、田原市博物館へお問い合わせください。		

資料群コード	B742001-017		
資料群名	田原市渥美郷土資料館蔵堀切区有文書		
年代	慶安3（1650）～明治12（1879）	公開資料点数	74点
出所地名	田原市		
所蔵区分	複製資料（原本：田原市博物館所蔵）		
詳細	●旧渥美郡堀切村に伝来した文書。同村は太平洋に面し、慶長6年（1601）幕領、寛永2年（1625）旗本清水家知行地、同16年幕領、翌年再び旗本清水家知行地に復するが一部は幕領のまま残された。享保10年（1725）分村し東堀切村は幕領、西堀切村は旗本清水家知行地になり、そのまま明治に至る。村高は「元禄郷帳」465石余、「天保郷帳」946石余、「旧高旧領取調帳」によると近世末期は、西堀切村が803石余、東堀切村が142石余。明治11年（1878）に東西が合併して1村となった。 ●『渥美町史』の調査によると、資料点数は950点余。3分の1ほどが近世資料で、近世初期の2、3の検地帳を別にすれば、総じて後期から幕末期の資料が多い。内容的には、年貢関係、海難関係、寺院関係、漁猟関係の資料がある。 ●目録は県史収集分のみを掲載している。『渥美町史』資料目録編、『渥美町史』資料編下巻に目録の一部が掲載されており、その目録をもとにしているが、記載内容を訂正・追加した部分がある。請求番号と画像写し込みの番号は異なるものもある。		
公開許可条件	複写物を刊行物やWeb上で掲載（翻刻掲載を含む）する場合や資料として配付する場合は、田原市博物館へお問い合わせください。		

資料群コード	B742001-018		
資料群名	田原市渥美郷土資料館蔵向山区有文書		
年代	寛文13（1673）～明治29（1896）	公開資料点数	71点
出所地名	田原市		
所蔵区分	複製資料（原本：田原市博物館所蔵）		
詳細	●旧渥美郡向山村に伝来した文書。同村は畠村沿岸の渥美湾の干潟干拓により形成された村で、延宝2年（1674）日比浜新田（向山新田）が開かれ、宝永4年（1707）畠村から分立してできた。近世を通じ大垣新田藩（美濃大垣藩の支藩）領で、村高は「元禄郷帳」515石余、「天保郷帳」614石余。文政12年（1829）の村差出帳によると家数36軒、人数210人。東方の干潟海域は貝類採取場として古くから知られていた。 ●『渥美町史』の調査によると、資料点数は690点余。新田や塩田の検地帳、検見帳、新田引畝分米帳などが目立つ。 ●目録は県史収集分のみを掲載している。『渥美町史』資料目録編、『渥美町史』資料編下巻に目録の一部が掲載されており、その目録をもとにしているが、記載内容を訂正・追加した部分がある。請求番号と画像写し込みの番号は異なるものもある。		
公開許可条件	複写物を刊行物やWeb上で掲載（翻刻掲載を含む）する場合や資料として配付する場合は、田原市博物館へお問い合わせください。		

資料群コード	B742001-019		
資料群名	田原市渥美郷土資料館蔵和地区有文書		
年代	寛永7（1630）～明治2（1869）	公開資料点数	431点
出所地名	田原市		
所蔵区分	複製資料（原本：田原市博物館所蔵）		
詳細	●旧渥美郡和地村に伝来した文書。同村は太平洋に面し、慶長6年（1601）から一貫して田原藩領で明治に至る。田原藩領内の表浜8か浜の1つで漁獲物の収益が高かった。幕末には西隣の小塩津村との村境に遠見番所と砲台があった。村高は「元禄郷帳」543石余、「天保郷帳」880石余。●『渥美町史』の調査によると、資料点数は1,310点余。検地帳・名寄帳などの土地台帳、年貢免状・年貢皆済目録などの年貢関係、浦手形・置手形などの海難関係などの資料がある。●目録は県史収集分のみを掲載している。『渥美町史』資料目録編、『渥美町史』資料編下巻に目録の一部が掲載されており、その目録をもとにしているが、記載内容を訂正・追加した部分がある。請求番号と画像写し込みの番号は異なるものもある。		
公開許可条件	複製物を刊行物やWeb上で掲載（翻刻掲載を含む）する場合や資料として配付する場合は、田原市博物館へお問い合わせください。		

資料群コード	B742001-022		
資料群名	田原市渥美郷土資料館蔵三か町村文書		
年代	明治29（1896）～大正5（1916）	公開資料点数	4点
出所地名	田原市		
所蔵区分	複製資料（原本：田原市博物館所蔵）		
詳細	●江戸時代の村が明治期に合併してできた福江町、伊良湖岬村、泉村の資料。福江町は高木村・古田村・山田村・畠村・向山村・亀山村・保美村・中山村・小中山村が、伊良湖岬村は和地村、東堀切村・西堀切村・小塩津村・日出村・伊良湖村が、泉村は宇津江村・江比間村・八王子村・村松村・馬伏村・伊川津村・石神村が、合併してできた。その後、この1町2村が昭和30年（1955）に合併して渥美町が形成された。●『渥美町史』の調査によると、資料点数は300点余で、すべて近代の資料である。●目録は県史収集分のみを掲載している。『渥美町史』資料目録編、『渥美町史』資料編下巻に目録の一部が掲載されており、その目録をもとにしているが、記載内容を訂正・追加した部分がある。請求番号と画像写し込みの番号は異なるものもある。		
公開許可条件	複製物を刊行物やWeb上で掲載（翻刻掲載を含む）する場合や資料として配付する場合は、田原市博物館へお問い合わせください。		